

グリーン調達・グリーン購入

製品の環境負荷低減のためには、環境負荷の低い部資材を調達する「グリーン調達」が必要です。

そこでムラタでは仕入先様に、環境経営を実践していただくよう理解と協力を求めています。

グリーン調達の推進

仕入先様の「グリーン度」を評価

ムラタでは、グリーン調達の考え方や仕入先様への要請事項などをまとめた「グリーン調達基準書」を配付し、仕入先様のご理解とご協力を得ながらグリーン調達を進めています。

新規取引にあたっては、国内外を問わず相手先の環境経営体制(ISOなどマネジメントシステム運用の有無)や特定有害化学物質を含有しない部資材納入の保証などについて調査し、さらに化学物質管理体制の適正さを重点的に精査したうえで、取引の可否を決定しています。

既存の仕入先様に対しては、環境事故リスクの高い部資材を納入いただいている仕入先様の

評価を優先的に実施していきます。評価結果の低かった仕入先様には改善要請や監査で指導し、改善が見られない場合は、取引中止を検討するなど、厳格な姿勢で対応しています。

今後は、海外におけるグリーン調達強化のため、2009年度から国内と同様の仕組みをその二つの高い海外拠点から順次導入する計画です。

仕入先様のグリーン度評価項目

- ・環境マネジメントシステム
- ・化学物質管理体制
- ・RoHS指令6物質に関する保証書の提出

部資材の環境品質保証体制のさらなる強化に向けて、日々取り組んでいます。

部資材では、仕入先様から製品含有情報を入手しデータベース管理することで、有害な化学物質を含んだ部資材が社内に流入しないように、日々管理しています。加えて、2008年度は新しい基準に適合した部資材のデータベース構築を推進することで、お客様からの製品含有調査にも、タイムリーに対応できるよう整備しました。

2009年度では、データベースに未登録の成形部品は購買できない仕組みを構築することで、ムラタの製品含有に関する環境品質保証体制の精度をさらに向上させていきたいと考えています。



株式会社村田製作所
生産本部
資材部 品質・環境課
松本 美代子

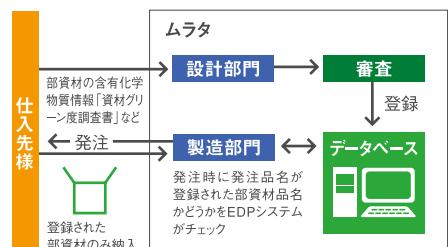
部資材の「グリーン度調査」を実施

ムラタでは、部資材を採用する前に、一品一品について「グリーン度調査」を実施しています。その際の基準として、法令の規制やお客様の要請に沿って使用の禁止・削減を定めたムラタ独自の技術基準を用いています。

部資材のうち特に取り扱いに注意を要する化学材料は、専門スタッフが審査し、合格したものを作成するデータベースに登録することで、合格した部資

材のみ調達可能とする仕組みを構築しています。さらに、2009年度は新たにREACH規制に対応したグリーン度調査を実施していきます。また、これまで海外拠点で独自に実施していたグリーン度調査を、2006年12月からムラタグループ統一ルールでの調査に移行しました。これによって、部資材採用の可否がムラタの技術基準に基づき確実に判断できるようになりました。

■部資材のグリーン調達の仕組み



グリーン購入の徹底

優先的に適合商品を購入

2001年施行の「グリーン購入法」では、国、地方公共団体、企業に対して環境負荷の低減に資する商品・サービスの購入を求めていました。ムラタでは、同法の基準に沿った商品や、環境ラベルを取得した商品を「グリーン」と定義し、これら

の商品を優先的に購入しています。2009年3月末時点の国内事業所におけるグリーン購入率は品目ベースで89%でした。今後もグリーン購入率100%を目指して、全部門で意識を高めています。

